

補助金評価シート(平成23年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1]

事務事業コード	補助事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
953112	総合学習振興補助金	教育委員会	学務係	向山 光	林 美智恵	
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)		
補助金事業実施の根拠(位置づけ)	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1001	教育委員会事務		
			#N/A			
	第五次総合計画後期基本計画の 施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり		
		節 (コード選択)	3節	学校教育の充実		
		項[基本施策] (コード選択)	1項	教育支援の充実		
		目[主な施策] (コード選択)	1目	こどもの個性への対応		
	関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
	補助金の期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続 (開始)	年度 ~ (終了予定)	年度		
	補助金の性質	<input type="checkbox"/> 事業費補助 <input type="checkbox"/> 団体運営費補助 <input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他()				
補助金の交付基準	<input type="checkbox"/> 法令 <input type="checkbox"/> 条例規則 <input type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称:)					
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/> 予算補助 <input type="checkbox"/> 決算補助 <input type="checkbox"/> 定率補助 <input type="checkbox"/> 定額補助					
補助金の財源内訳	<input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国・県補助あり	(町 / 10)	(県 / 10)	(国 / 10)		

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(〜に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

<input type="checkbox"/> 一部事務組合等	<input type="checkbox"/> 公益法人	<input type="checkbox"/> 企業や団体	<input type="checkbox"/> 個人
----------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------

(交付団体名 : 各小中学校)

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

小中学校において、生きる力を育むことを目的に総合的な学習を行い、体験的な活動を通して教科書から学ぶものとは違う能力を育てる

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	小学校では、低学年が花作り、畑作り、高学年が種まきから収穫までの一連の作業体験等を行うことに対して、補助金を交付する
2	中学校では、人との出会い、職場体験、ボランティア・社会体験学習等、総合的に学ぶことに対して、補助金を交付する

(3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)	
①	指標名	小学校での活動人数	人	1,064	1,060	1,060	1.00	1,060
	説明	総合学習に参加した児童数	目標値設定の根拠	学年毎に全児童が活動する				
②	指標名	中学校での活動人数	人	543	512	512	1.00	512
	説明	総合学習に参加した生徒数	目標値設定の根拠	学年毎に全生徒が活動する				

(4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度									
事業費(円)		1,500,000			1,500,000			1,500,000			1,500,000									
補助率(町負担分)		100.0%			100.0%			100.0%			100.0%									
町交付額(一般財源)(円)		1,500,000			1,500,000			1,500,000			1,500,000									
財源内訳	国庫支出金																			
	県支出金																			
	地方債																			
	その他																			
	一般財源	1,500,000			1,500,000			1,500,000			1,500,000									
人件費の概算		(千円)																		
対前年比		%																		
		課長			課長補佐			係長			一般職員			延べ人数			年間人件費	年間人件費	年間人件費	
		H22	H23	H24	H22	H23	H24	H22	H23	H24	H22	H23	H24	H21	H22	H23	H24	/	/	/
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	70	67	66
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっております。(人件費計算式)シート											0	0	0					

(5) 補助金の効果の評価 [Check]

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか）	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	教科書では学べない学習ができ、周りの期待も大きい
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	指導要領の関係もあるが、義務教育の中での取組は必要である
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか？	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	児童・生徒の今後の日常・社会生活を考えると、必要な体験である
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	B	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	事業内容によっては、ボランティアの活用なども考えられる
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	作業内容や結果、人とのふれあい、仲間づくり、協力体制の確立など成果は顕著である
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	教科授業では体験できない作業やふれあい等を体験することで、教科書にはない学習が出来た
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	A	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	全校児童生徒が対象
その他	これまでに見直し実績はあるか	B	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由}	児童生徒数に変動はあるが、基本的に交付額は変わっていない
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか		体験を通して、町内企業に就職したり、町の将来像を考えるきっかけになっている		

(6) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **□を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

<今後の展開方針> (イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください)

- a 増額する
 b 減額する
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	24年度予算見積書への反映 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
ボランティアにお願いできる事業・内容は協力をいただきながら、今後も継続していく	[反映内容] 継続事業として予算計上

(7) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック
国からキャリア教育の推進が求められてきており、事業の継続実施が必要である。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 □を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

➡ 上記 a ~ c を選択